

# 全仁会ニュース

全仁会グループ 倉敷平成病院 広報誌

2010  
慶春号  
No.68

## 限りない QUALITY OF LIFE を求めて

医療法人全仁会 倉敷市老松町4丁目3-38 倉敷平成病院内 全仁会ニュース編集部 発行責任者／高尾 武男



表紙：「寅年」倉敷老健でのリハビリ作品

年頭のごあいさつ	2
新任医師紹介	6
院内案内 総社消防署救急隊員研究会開催 第21回 消火技術訓練大会 屋内消火栓の部 倉敷平成病院が男女優勝!	6
第44回 のぞみの会 開催報告〈4〉 ヘルシーレシピ〈7〉 ローズガーデンだより〈7〉	



日本医療機能評価機構

当院は2009年5月  
日本医療機能評価機構  
の認定を受けました

平成22年の  
のぞみの会は

11月7日(日)

倉敷平成病院  
リハビリセンター  
にて

医療法人 全仁会

倉敷平成病院

ご自由にお持ち帰りください

## 年頭所感

理事長

高尾 武男



新年明けましておめでとうございます。

平成22年は全仁会にとって更に一步飛躍を遂げるための節目の年となります。それは、皆さんもうご存知の通り、平川訓己先生を新院長にお迎えしたからにほかなりません。

本年1月より鈴木健二前院長は、名誉院長として倉敷平成病院の屋台骨となって支えてくださいます。そして、平川訓己先生は大黒柱として院長に就任、これに伴い、篠山英道医師が副院長に就任致します。高尾芳樹副院長と力を合わせ、外科系・内科系、両輪となつての活躍を期待しています。また、渋谷啓医師が整形外科部長に、高尾聡一郎医師が脳神経外科部長となりました。倉敷平成病院の組織力アップがなされました。

平川訓己院長は、平成8年に当院へ着任以来、副院長・整形外科部長、また「わかりやすいやさしい医療推進委員長」とし

て、倉敷平成病院を支えてきてくださった方です。院長職に就かれても、今まで通り外来・手術執刀などされるとのことで、整形外科診療の一層の充実と共に、病院全体としても活性化が期待されます。

さて、昨年11月に開催された第44回のぞみの会では、過去最高の1,000人を超える方々からの参加のお申し込みをいただき、盛大に開催することができました。大変ありがとうございました。また、脳卒中診療について、NHK岡山放送局やOHK岡山放送、山陽新聞など今までになく報道各社から取り上げられ、今後脳神経外科、神経内科、麻酔科での「倉敷平成病院脳卒中チーム」の一層の充実に向けてまいる所存であります。

当院は、「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」との患者本位の医療を理念として掲げております。

常々、患者さまと医療人との

絆を大切にしていきたいとの熱い思いがありますが、患者さまからのクレーム、医療に対する不信感、医療訴訟、これらの多くは、患者さまと医療人との絆が希薄になってきていることが原因の一つだと考えられます。

倉敷平成病院は、患者さまと医療人が近い病院、「信頼関係・思いやり・やさしさ」という絆で深く強く結ばれた病院でありたいと願っております。

平成22年は寅年で、勢いよく伸びはじめる年だとされています。しっかりと自分と向き合い、自らを省み、正すことで、目標にまっすぐ進むことが出来ると思います。皆さまと共に充実した一年といたしましょう。





## 院長に就任して

院長  
平川 訓己

皆様明けましておめでとうございます。小生、この度、高尾理事長より院長を拝命致しました。身に余る光栄に浅学菲才な己を省みる時、不安ばかりが先立ち責任の重さに身の引き締まる思いで一杯です。

平成8年4月、高尾理事長、故西川院長の情熱にほだされ、倉敷平成病院の一員になりました。整形外科部長として、副院長として、整形外科を何とかしなければとの思いで13年間

走って参りました。皆様に少しずつ浸透し、外来もお蔭様で一日100人を越す患者さんの受診を得る様になりました。現在3人の整形外科医でやっと廻っていますので、小生もまだ一整形外科医として頑張る必要が有ります。

院長業に比重が移ると思いますが、これからも外来、入院と責任を果たして行こうと思っています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

全仁会は小生の入職時にケアハウスがオープンしており、その後、倉敷在宅総合ケアセンター、病棟新館、老健増築、ローズガーデン等々、休む暇もなく発展し、病院も、MRI、CT等限りなくバージョンアップし、時代の流れに上手に乗り発展し続けています。

多少の波は有ったものの、良い流れの中で二度の病院機能評価を乗り切り、その都度職員全体の質の向上が望めたと思います。

病院に関して言えば、「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」全仁会ビジョンの達成はハード面

ではほとんど出来上がっていると思います。残るマンパワー、とりわけ医師の獲得は難題です。都会に偏在した医師を何とか当院へ取り込みたいものです。

ビジョンの達成には当院で取り組んでいる研究発表大会が有ります。職員でグループを作り、患者本位の医療を進める為の業務改善に取り組み全員の前で発表し、それを実践し病院の質を上げ、患者様の支持を得る原動力になっています。このQC運動は毎年回を重ね昨年末に第18回を数えました。

今までの病院の流れが変わる事無く歴代の院長に遅れを取らない様に、微力ではございますが、職員皆様の御協力、御支援をいただきながら職務を勤めさせていただく所存です。

宜しくお願い申し上げます。



## 名誉院長に就任して

名誉院長  
鈴木 健二

新年明けましておめでとうございます。このたび名誉院長に就任いたしました鈴木健二でございます。

私が平成18年の4月に倉敷平成病院に着任いたしまして、早3年9ヵ月となります。

当院に着任してからの私は、生意気なようですが、岡山赤十字病院時代から一緒に仕事をして参りました、脳神経外科医 高尾聡一郎医師を育て上げることに夢中で、時が経つのが大変早かったように感じます。

高尾医師が立派に独り立ちをし、そろそろ私の役目も果たしたかなと感じていた頃、高尾理事長より名誉院長の役職を受けていただけないかとの話をいただき、喜んでお受けした次第でございます。

思い起こせば院長として着任した当初は、全仁会が若い組織であるため、若い組織だからこそできることは何か模索し続けていましたが、今では若い力が全仁会グループの即戦力になってきていると日々感じております。

また、当グループの四本柱は「研究

発表大会」や「のぞみの会」、「神経セミナー」、「看護セミナー」ですが、それらの開催も組織の団結力を一層強くしていると思います。特に「のぞみの会」では、患者様と触れ合うことで、患者様から教わることも大変多く、職員一人ひとりの向上につながると同時に、患者様を大切に思う気持ちもより強くなってきていると私自身感じております。

名誉院長に就任いたしましても、今までと変わらず引き続き、老健施設への回診や脳ドック検査等もさせていただきます。そして、少し距離を置いた立場から組織を見させていただきたいと思っております。

トラの勢いで前進あるのみ！これからも全仁会グループ共々どうぞよろしくお願い致します。

## のぞみの会 勉強会

### 脳神経外科医長 高尾 聡一郎 医師

当院 脳神経外科 高尾 聡一郎医師が「脳卒中の急性期治療」について話しました。

高尾医師はこの勉強会の中で「t-PA療法」の重要性について語り、「t-PA療法」は脳梗塞の超急性期（発症3時間以内）に対し、t-PA製剤といわれる薬を使用し治療を行うことで、全く後遺症を残さずに行うことが出来る症例があり、現在注目されています。

t-PA療法はどの病院でも行えるというわけではなく、岡山県内でt-PA療法が可能な病院は13院しかありません。もちろん当院もその13院の中に入っています。

脳卒中はまず予防することが大切ですが、脳卒中になってしまった場合には、迷わずに当院を受診してください。



### 整形外科副部長 渋谷 啓 医師

当院 整形外科副部長 渋谷 啓医師は「脳卒中まひ機能再建手術」について話しました。

「脳卒中まひ機能再建手術」とは、脳卒中の後遺症で自由がきかなくなった手足に、「整形外科的選択的痙性コントロール手術」と呼ばれる方法で過剰に緊張している筋腱を弛め、筋腱のバランスを良くすることで関節の動きを良くするものです。

具体的な効果として、「肩があがりやすくなる、肩の亜脱臼がよくなる」、「肘がのびやすくなる」、「緊張からくる痛みが軽くなる」などがあります。また勉強会の中で、実際の症例ビデオを流され、映像を見た患者様からは「本当に手術後のほうが良くなってるねえ」との感想を多数いただきました。

手足の麻痺に悩まれている方、是非一度、渋谷医師の外来を受診されてみてはいかがでしょうか。



### 生活習慣病センター診療部長 青山 雅 医師

当院 生活習慣病センター診療部長 青山 雅医師は「生活習慣病とその対策～食事・運動・禁煙の方法～」について話しました。

生活習慣病とは「食習慣・運動習慣・休息・飲酒・喫煙などの生活習慣が原因で発症、進行する病気のこと」をいいます。勉強会の中で青山医師は、「生活習慣病の中には動脈硬化が原因の病気もあります。脳梗塞や心筋梗塞、認知症になる事もあるんですよ。」と語りました。

勉強会に参加された方からは、「生活習慣病って昔は糖尿病って言われていたから、ただ単におしっこに糖が出るだけだと思っていたけど、こんな恐ろしい病気を引き起こすなんて怖いねえ。私も気を付けます。」というような声が聞かれました。



## のぞみの会 特別講演

### 理事長 高尾 武男 医師

11月15日に行われたのぞみの会では高尾理事長による勉強会もありました。

高尾理事長は「救急から在宅までの医療の実践」について話し、その中で「一貫した医療を提供できるのは、全仁会が病院だけでなく、いくつかの関連施設を持っているからこそ出来るんですよ。みなさんも当院で一貫した治療を受けてみたくなったでしょう。」とユーモアたっぷりに語りかけました。

また、高尾理事長の専門である認知症についても触れ、「認知症の治療は早期診断が予防・進行防止・症状改善の鍵です。また患者さんを孤独にさせないことが何より大切なことです。」と力強く話しました。

総合した一貫医療を受けられたい方、またご家族が認知症で困っている方、是非当院へお越しください。





町田 庫一 さま

もともと町田さまは寝たきりで在宅介護を受けておられました。当院に入院する前まで、他院に入院・リハビリを利用しておられましたが、当院に転院し、リハビリを続けられて少しずつではあるが歩けるようになった。とお話くださいました。

また、リハビリだけでなく、色々な治療法を組み合わせ、根本的に治療していくというのが素晴らしいとおっしゃってくださいました。

## 体験発表



室井 知子 さま

急に頭痛とめまいがし、自力で病院へ行くことが出来ず、座り込んでしまい立てなくなりました。救急車で当院に運ばれ、脳神経外科 高尾聡一郎医師の手術を受け、後遺症等もなく回復し、無事に退院されました。

室井さまは自身の経験を踏まえ、家族や友人にも脳ドックやMRIなどをすすめ、予防を推奨されています。

## 教えちゃいます 私の健康法

では、山本郁雄さまが、自身の健康法をたくさん教えてくださいました。

- ➔ 毎朝ラジオ体操をすること。
- ➔ 当院主催の「糖尿病料理教室」へ積極的に参加すること。
- ➔ ゴーヤを使った料理や ゴーヤジュースを飲むこと。

などです。

身近で簡単にできる健康法だったので、みなさんもマネして、山本さまのように若々しく健康でいられるように頑張りましょう。

山本 郁雄 さま  
写真右側▶



今回初めての試みの「みんなの笑顔の写真コーナー」にご協力くださった方々です。了承を得て掲載しています。

## テレビや新聞にのぞみの会が紹介されました!

第44回のぞみの会の様子が、KSB 瀬戸内海放送、TSC テレビせとうちのニュースにて紹介されました。また、11月19日付けの山陽新聞朝刊にも紹介されました。



## 第44回 のぞみの会開催のお礼

のぞみの会実行委員長 篠山英道

～院内報より～

平成21年11月15日に開催されました『第44回のぞみの会』では、皆様の御参加、御協力をいただきまして、大成功に終える事が出来ました。外部からの参加申込が1,036名と、初めて1,000人を越え、史上最大の規模で行うことが出来ました。本当に沢山の出会いがありました。賑やかで楽しそうな声を、いっぱい聞かせてもらいました。

今年は、参加された患者さまの「飛び入り」があり、リハビリテーション科の高尾祐子医師の患者さまが、リハビリテーション治療の体験談を話されました。また会の終わりに、私の外来患者さまが壇上へ上がって、率直な感想を述べられました。患者さまからの感謝やお礼の言葉は、私たち全仁会の元気の源です。こうした人と人とのふれあいの中で、より良い信頼関係が築かれ、より良い医療や介護や福祉の実践に繋がっていくのだと思います。

本当にみなさまありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。次回 **第45回のぞみの会**は、**平成22年11月7日(日)**を予定しております。また、のぞみの会で逢いましょう。



よろしくおねがいします！

## 新任医師紹介



もりもと のぶとし  
神経内科 森本 展年 医師

神経内科・森本展年といたします。平成15年に続き2回目の赴任です。  
平成16年に倉敷平成病院を転勤になった後は岡山大学病院の病棟・福山市の大田記念病院での勤務を経て大学院へ入学しました。大学院では筋萎縮性側索硬化症（ALS）のモデル動物を使った実験をいくつか行っていました。患者さんに何か還元できるものはないだろうか？と今も少しずつですが研究を続けています。  
ここ倉敷平成病院にて地域医療に少しでも貢献できるようがんばりますので、よろしくおねがいします。

### 院内案内

“救急医療の向上を目指して”

～形成外科 森 大祐医師が講演～

## 総社消防署救急隊員研究会開催

9月30日、総社市消防本部にて、平成21年度救急隊員研究会が開催されました。「形成外科の処置と救急搬送時の対応」をテーマにした研究会で、片岡総社市長、大角消防長を始め約100名の救急隊員の方と消防団員数名が参加されました。

まず、当院篠山救急部長が挨拶し、続いて森大祐形成外科医長（救急兼務）が講演いたしました。演題は「外傷、形成外科」で、形成外科の定義、形成治療の目的、救急医療における形成外科の役割等を説明、最後に当院の救急体制を報告致しました。



その後の症例研究では、総社市消防より「幼児の顔面外傷症例について」と「乳幼児の熱傷例について」の発表があり、森大祐医師がそれぞれ、ガラス混入の可能性がある場合の対応や顔面Ⅱ度熱傷の救急処置を説明致しました。

その後の質疑では、凍傷に対する処置方法、切断指時の処置等の質問があり、消防隊員の方々の症例に取り組みされる熱心な姿勢に心を打たれました。



### 院内案内

## 第21回 消火技術訓練大会 屋内消火栓の部 倉敷平成病院が男女優勝！

10月2日（金）に開催された第21回消火技術訓練大会（主催：倉敷市消防局・倉敷市防火協会）の屋内消火栓の部に倉敷平成病院が出場。男子・女子共に優勝の大変見事な成績を収めました。

この訓練は、倉敷市防火協会へ加入している事業所が消火器及び屋内消火栓設備の基本的な取扱いと操作技術を競い、火災発生時に迅速・的確な対応をすることにより被害を最小限に留めることと、各事業所における啓蒙を目的としており、年に1回開催されます。今年の参加は、消火器の部・屋内消火栓の部合わせて、43事業所、53チームとなっています。もちろん病院だけでなく、一般企業も参加します。倉敷平成病院は毎年上位に入賞する事業所ですが、今年は、男子・女子アベック優勝でした。当院の、防災への真摯な取り組みの成果だと思われます。



●12月1日には、院内避難訓練も実施致しました。

生活習慣病予防のための

# ヘルシーレシピ

倉敷生活習慣病センター 管理栄養士 小見山 百絵



## 白菜のポタージュ・白菜のピリ辛漬け

1人前/ポタージュ/125kcal、塩分1.0g、漬物/42kcal・塩分0.5g



### ■白菜の量

- 白菜……1/3玉
- ・葉と芯の部分はポタージュに使用。
- ・白い軸の部分は漬物に使用。

### ■白菜のポタージュの作り方

- ①白菜と玉ネギ1個は繊維に逆らうように5mm幅に切る。ジャガイモ1個は5mm幅のいちょう切りにしてしばらく水にさらす。
- ②深めの鍋にバター大さじ1を溶かし玉ネギを炒める。しんなりしたら白菜と水気を切ったジャガイモを加え

### 部位の特徴を活かしてまるごとおいしく「白菜」

中国から種子を持ち帰り広まった白菜は、精進料理で「養生三宝」の一つに挙げられ重要な食品として位置づけられています。淡白で幅広く応用できる食材ですから、葉と軸の硬さや風味の違いを活かして調理します。白菜には塩分の排泄を促す効果のあるカリウムが含まれていますが、水に溶けやすいので煮汁ごと食べられる献立がオススメです。

てさらに炒め、白菜がしんなりしてきたらひたひたになるくらいの水を加える。

- ③コンソメ1個も加えてフタをし、柔らかくなるまで煮る。
- ④③をミキサーにかけて鍋に戻し、牛乳1.5カップを加える。沸騰前に火を止め塩コショウで味を整える。パセリのみじん切りを振る。

### ■白菜のピリ辛漬けの作り方

- ①白菜の軸の部分は長さ5cmくらいの拍子木切りにする。キュウリ1本も同じ大きさに切り塩少々を振ってしばらく置く。
- ②小鍋に砂糖大さじ1、米酢50cc、酒大さじ1、ごま油小さじ1、食塩小さじ1/4、赤唐辛子1本を入れて火にかけて、沸騰したら火を止める。
- ③これにしっかりと水気を絞った①を加えて混ぜ、粗熱がとれたら冷蔵庫で冷やす。



## ローズガーデンだより

### 「ティータイムコンサート」開催

ローズガーデン倉敷 生活相談員 平松 和晃



11月4日(水) 15時～、ローズガーデン倉敷にて「ハープとヴァイオリンのティータイムコンサート」が開催され、ローズガーデン倉敷・ドリームガーデン倉敷へのご入居の方々約60名が芸術の秋を堪能されました。

演奏者は、堀米 綾さん(ハープ)と、久保啓子さん(ヴァイオリン)のお二人でした。お二人とも東京を拠点に全国で活躍されている演奏者です。倉敷

平成病院の音楽療法士の江島律子氏からの紹介で実現したコンサートです。ハープという楽器自体が珍しく、その一流の音楽家の演奏を間近で聴けるなんてめったにない機会でした。

曲名でピンとこなくても、どれも一度は耳にしたことがあるという有名な曲ばかり、それに日本唱歌・クラシックの名曲・ジャズっぽいものと幅広く、「この世のものとは思えない程すてきな音楽でした」と感想をおっしゃられる方もおられました。

演奏のお二人は可憐な衣装を身にまとい、まるでお人形さんのように愛らしく映っていました。

参加された皆様も、とても優雅なひと時を過ごすことができ、大変感激しておられるご様子で、今後もこのような会を企画していきたいと思いました。



## ローズガーデン倉敷

倉敷市南町4-38 (平成病院より徒歩7分)

電話 086-435-2111

ローズガーデン倉敷

検索

「ローズガーデン倉敷」は、倉敷平成病院が運営している住宅型有料老人ホームです。

各戸に安心の設備付き。健康体操・太極拳・民謡・習字などのカルチャー教室も開催。入居者・体験入居、受付中!



※ローズガーデン倉敷は、このたび全国有料老人ホーム協会へ加入致しました。ご入居の皆様への更なるサービス向上を目指します。

Table with columns for time slots (午前, 午後), treatment types (診療), and medical specialties (診療科目). It lists various departments like Neurology, Neurosurgery, Internal Medicine, etc., and the corresponding doctors on duty.

◎新患の受付は受付時間の30分前までです。◎第1・3火 14時～16時で阿部康二先生(岡大神経内科教授)が診察しています。◎当院は麻酔科医(和田聡医師)が常勤です。

倉敷生活習慣病センター【倉敷平成病院 2階】 ☎086-427-0120

Table for 倉敷生活習慣病センター showing treatment times (8:00-12:00) and the doctor on duty (青山 雅).

総合美容センター【倉敷平成病院 1階】 ☎086-427-1616

Table for 総合美容センター showing treatment times (8:30-18:30) and various medical specialties like Dermatology, Plastic Surgery, etc., with corresponding doctors.

◎美容・形成外科で14時～16時30分は予約のレーザー・手術となります。◎木曜日は17時までの診療です。◎AGA育毛外来をしております(吉岡保センター長)。

～脳疾患に挑む“絆”の医療～ 倉敷平成病院が テレビで紹介されます

倉敷平成病院脳外科の手術の様子やMRI、リハビリなどが紹介されます。是非ご覧下さい。

- TSCテレビせとうち 平成22年1月31日(日) 12時～12時30分 『シリーズ 医療現場からの報告(仮)』



「平成健康アラカルト」 ラジオ番組絶賛放送中!

倉敷平成病院の医師が病気についてのいろいろなご質問にお答えします。質問もお待ちしております。



- FMくらしき(82.8MHz) 水曜(昼) 15時～15時15分
- FMおかやま(76.8MHz) 土曜(昼) 12時～12時15分

院内コンサート開催

月1回、外来待合にて生演奏を開催します。オカリナ奏者 折井ユミコさんと共に、楽しいひとときを過ごしませんか?リクエストもお受けしています。

- 10時30分～11時
- 1月25日(月)
- 2月26日(金)
- 3月29日(月)
- 4月23日(金)



全仁会グループ 倉敷平成病院 内科・神経内科・脳神経外科・整形外科・リハビリテーション科... 倉敷老健 倉敷市老松町4-3-38 TEL.086-427-1111